

単元の目標

- (1) 古代までの日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 古代までの日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 古代までの日本に関わる諸事情について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 人類の誕生から古代までの日本と世界の動きを大きく大観し、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>★原始と古代の日本の様子を比べよう。</p> <p>○資料を通して、日本と世界の出来事やつながりについて調べ、見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原始的な暮らしから、海外の影響を受けてくらしが発展している。 <p>○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>●日本という国はどのように生まれ、発達していったのだろう。</p> <p>2 人類の誕生から農耕・牧畜までを調べる。</p> <p>★人類はいつごろ出現し、どのように進化していったのだろう。</p> <p>○人類の祖先について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猿人、原人、旧人、新人 ・直立二足歩行 ・旧石器時代 <p>○農耕と牧畜による人々の生活の変化について話し合い、分かったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候の温暖化によって、農耕・牧畜を行うことが可能になり、人々がムラをつくって同じ場所で暮らすようになった。 <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■世界では、どのようにして国家や文明が生まれたのだろう。</p> <p>3 古代文明の誕生について調べる。</p> <p>★古代文明はどのような地域におこり、どのような特徴をもっていたのだろう。</p> <p>○古代文明がおこった場所について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メソポタミア文明 ・エジプト文明 ・インダス文明 ・中国文明 <p>○メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明の特徴を比較し、共通点と相違点を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨大な建築物がつくられたことや支配者がいたことなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 18～21 ・教 P. 18～20 の「トライ」を活用させる。 ・教 P. 18～21 の資料から、日本と世界の出来事やつながりについて読み取らせる。 (比較、時系列、推移、つながり) ・教 P. 20 の年表で古代までの日本と世界の動きを時系列で捉えさせる。 <p>【評】古代までの日本や世界の動きを、資料を基に読み取る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 22～23 ・旧石器時代から新石器時代にかけて起こった変化に着目して追究させる。(推移) ・人類が猿人、原人、旧人、新人へと進化してきた過程をつかみ、それぞれの段階の特徴をつかませる。 <ul style="list-style-type: none"> ・気候の温暖化により、人々の生活に大きな変化が生じたことを捉えさせる。 <p>【評】人類のくらしが採集・狩猟生活から農耕・牧畜生活へと変化したことを気候と関連付けて考えたり、表現したりする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代文明の概略を知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 24～25 ・メソポタミア、エジプト、インダス文明がおこった場所や環境に着目して追究させる。(比較) ・教 P. 25 の資料 7～11 を活用して、古代文明が農耕・牧畜が発展しやすい大河の流域でおこったことに気付かせる。 ・古代文明の特徴について、文字や建築物などに注目して比較させる。 <p>【評】古代文明の特徴について、共通点と相</p>

<p>が三つの文明に共通している。</p> <p>4 中国の文明と朝鮮半島の国々について調べる。</p> <p>★中国には、どのような文明がおこり、どのように発展していったのだろう。</p> <p>○中国の文明について調べる。</p> <p>○古代中国を統一した秦と漢について、時代の特徴やどのように発展したかを調べる。</p> <p>○朝鮮半島の国々について調べる。</p> <p>5 ギリシャ・ローマの文明について調べる。</p> <p>★ギリシャ・ローマの文明はどのようにおこり、どのように発展していったのだろう。</p> <p>○ギリシャの文明について調べる。</p> <p>○ローマの文明について調べる。</p> <p>6 三大宗教の誕生と広がりについて調べる。</p> <p>★古代では、どのような宗教がおこり、人々に受け入れられていったのだろう。</p> <p>○世界の三大宗教のおこりと広がりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代文明がおこった辺りで、宗教も誕生している。 <p>○宗教が広まった理由について話し合う。</p> <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>7 日本人のルールと縄文時代について調べる。</p> <p>★日本列島に住んだ祖先たちは、どのような生活をしていただろう。</p> <p>○旧石器時代の人々の暮らしについて調べる。</p> <p>○縄文時代の人々の暮らしについて調べる。</p> <p>○旧石器時代と縄文時代の人々の暮らしを比べ、どのように</p>	<p>違点を調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 26～27 ・国家が領土や支配地を治めるために行った仕組みの変化に着目して追究させる。(推移) ・中国文明でも、文字や建造物などが発達したことに気付かせる。 ・万里の長城が国を守るために築かれたことやシルクロードが開かれたことにより各地の文化が周辺の国々へ影響を与えたことを捉えさせる。 <p>【評】各時代の特徴について、国家が行った自治の変化と周辺国に与えた影響をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 28～29 ・政治制度の特徴に着目して追究させる。(推移) ・アテネは民主政によって、社会が安定し、演劇や哲学などの文化が発展したことを捉えさせる。 ・都市国家であったローマが、共和政から帝政へと変わり、大帝国に発展していったことを押さえる。 <p>【評】アテネやローマで生み出された民主政や共和政の特徴についてまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 30～31 ・仏教、キリスト教、イスラム教がおこった地域や広まっていく過程に着目して追究させる。(推移) ・宗教がおこった地域や広がりについては、事実を扱うこととする。教義については深入りしない。 ・教 P. 25 の資料 7 と教 P. 31 の資料 7 を比較し、古代文明と主な宗教がおこった場所が共通していることに気付かせる。 <p>【評】三大宗教のおこりと広がりについて調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 32～33 ・日本列島の自然環境と人々の生活の変化に着目して追究させる。(推移) ・教 P. 32 の資料 4 を活用して、日本と大陸がつながっていたことを押さえる。 ・教 P. 32 の資料 1～2 を活用して、縄文時代の人々が暮らしの中で何をしていたのかを読み取らせる。 ・竪穴住居や土器などが生活の向上につなが
--	--

<p>向上したかを調べる。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■日本列島ではどのように社会がまとまり、国家が形づくられていったのだろう。</p> <p>8 稲作の広まりと弥生時代について調べる。</p> <p>★稲作の広まりは、人々の暮らしをどのように変えていったのだろう。</p> <p>○稲作の広まりについて調べる。</p> <p>○弥生時代について調べる。</p> <p>○縄文時代と弥生時代を比較し、くらしや社会の在り方の変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲作が広まり、人口が増えると、土地や水を巡って争いが起きるようになった。 <p>9 ヤマト王権と渡来人について調べる。</p> <p>★東アジアとの交流の中で、ヤマト王権は、どのようにして日本を統一していったのだろう。</p> <p>○古墳について調べる。</p> <p>○ヤマト王権と渡来人について調べる。</p> <p>10 「よろいを着た人物のなぞ」について調べる。</p> <p>★考古学に挑戦！よろいを着た人物のなぞを解こう。</p> <p>○よろいを着た人物の立場について調べる。</p> <p>○近くから発見された女性1体と子ども2体の骨について調べる。</p> <p>○火山灰の面から発見された足跡について調べる。</p> <p>○よろいを着た人物のなぞについて、自分の考えをまとめたり、話し合ったりする。</p>	<p>っていることを捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生時代の概略を知らせる。 <p>【評】縄文時代の人々の衣食住の習慣を資料からまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 34～35 ・稲作の広まりによる社会の変化と発展に着目して追究させる。（比較） ・ムラからクニへの変化と邪馬台国について押さえる。 <p>【評】稲作の普及や生産技術の発展がもたらした人々のくらしや社会の変化について考えたり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 36～37 ・古墳の大きさや分布、渡来人の果たした役割や外交に着目して追究させる。 (つながり) ・塚や墓、円墳、方墳、前方後円墳という墓の種類にも触れる。前方後円墳は非常に珍しい形であることを押さえ、なぜそれが大和地方に多いのかについて考えさせる。 ・ヤマト王権が畿内を中心とした勢力であったと考えられていることを押さえる。 ・渡来人が伝えたものを知らせ、その業績により日本の文化や技術が大きく発展したことを捉えさせる。 <p>【評】渡来人がもたらした技術や文化が、どのようにヤマト王権や社会に影響を与えたのか考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 38～39 ・資料1～4を活用して、金井東裏遺跡の位置や発掘状況などから、よろいを着た人物の立場について考えさせる。 ・資料5を活用して、人物の特徴や発掘されたときの状況などから、よろいを着た人物との関係を考えさせる。 ・資料6を活用して、足跡の形や向きから当時の人々の行動を捉えさせる。 ・教 P. 39の「よろいを着た人物のなぞを解こう」で、何をしていて、どのような立場の人物なのかについて自分の考えを記述させ、意見を出し合わせる。 <p>【評】よろいを着た人物はどのような人だ</p>
--	---

<p>11 東アジアの統一国家について調べる。</p> <p>★当時の日本からみて、中国の隋や唐はどのような国だと思えたのだろう。</p> <p>○隋・唐による中国統一について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐は律令に基づく政治を行い、皇帝を中心とする中央集権国家をつくりあげた。 <p>○新羅の朝鮮半島統一について調べる。</p> <p>○朝鮮半島の国について調べる。</p> <p>12 聖徳太子と飛鳥時代について調べる。</p> <p>★蘇我氏と聖徳太子は、どのような国づくりを進めたのだろう。</p> <p>○蘇我氏や聖徳太子について調べる。</p> <p>○なぜ、遣隋使を派遣したのかを考える。</p> <p>○飛鳥文化について調べる。</p> <p>13 律令国家の成立について調べる。</p> <p>★大化の改新を目指した政治改革は、どのように受けつがれていったのだろう。</p> <p>○大化の改新について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乙巳の変 ・蘇我氏の滅亡 ・公地公民 <p>○律令国家の成立について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持統天皇は天武天皇の事業を引き継ぎ、藤原京や大宝律令を完成させた。 <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>14 奈良の都と人々のくらしについて調べる。</p> <p>★奈良時代の政治には、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○平城京と律令国家の仕組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二官八省 ・国郡里 	<p>ったのか、資料を基に考え表現する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 40～41 ・国土の広がりや政治制度、文化の面など、その頃の日本との違いに着目して追究させる。(比較) ・教 P. 40 の資料 2 を活用して、いつ頃存在した国かを確認させる。また、唐が律令を制定し、世界有数の国であったことを押さえる。 <p>【評】隋や唐の国の仕組みについて、日本との違いを踏まえ、調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国が南北朝に分かれていた頃、朝鮮半島では、6 世紀に新羅と百済の勢力が増し、やがて、新羅が朝鮮半島を統一したことを押さえる。 ・教 P. 42～43 ・国づくりを進めた聖徳太子の政治や外交方針に着目して追究させる。(比較) ・教 P. 43 の資料 7 を活用して、聖徳太子と蘇我氏や推古天皇の関係を読み取らせる。 ・教 P. 42 の資料 4 を活用して、当時の日本と隋の国の仕組みの違いから考えさせる。 ・蘇我氏や聖徳太子は、なぜ熱心に仏教を信じて、次々に寺院を建てたのかを考えさせる。 <p>【評】聖徳太子が行った国際政治と外交の業績についてまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 44～45 ・大化の改新から律令国家が成立するまでの政治の動きに着目して追究させる。(推移) ・教 P. 45 の資料 8 を活用してそれぞれの都の位置を捉えさせる。 ・天智、天武、持統天皇が行った政治についてまとめる。 <p>【評】大化の改新から天武天皇、持統天皇へと引き継がれて律令国家が確立されたことを調べまとめる活動を通して、「知識・理解」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 46～47 ・大化の改新までの政治や社会の様子や変化に着目して追究させる。(推移) ・教 P. 46 の資料 1～4 を活用して、都の様子や政治の仕組みなどを取り上げ、その特
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・太宰府 ・朝廷 <p>○ 律令国家の下での人々の暮らしについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口分田 ・班田収授 ・墾田永年私財法 <p>○ 小単元の学習問題をつかみ、学習の計画を立てる。</p> <p>■ 律令国家の政治と文化は、各時代においてどのように移り変わっていったのだろう。</p> <p>15 天平文化と聖武天皇について調べる。</p> <p>★ 奈良時代の文化には、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○ 東大寺の正倉院に納められているものを調べる。</p> <p>○ 天平文化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教によって国を守り、安定を図ろうとしたため、仏教を中心とした文化が栄えた。また、唐の文化の影響を受け、国際色が豊かな文化になった。 <p>○ 万葉集と歴史書について調べる。</p> <p>16 平安京と桓武天皇について調べる。</p> <p>★ 平安時代の桓武天皇による政治には、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○ 平安京について調べる。</p> <p>○ 桓武天皇が目指した政治について調べる。</p> <p>○ 遷都の理由について話し合う。</p> <p>○ 平安時代の仏教の特徴を調べる。</p> <p>17 摂関政治について調べる。</p> <p>★ 平安時代の藤原氏による政治には、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○ 摂関政治と地方行政について調べる。</p>	<p>徴を捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 47 の資料 5～7 を活用して、税や兵役・労役の視点から当時の人々の暮らしの様子を捉えさせる。 ・教 P. 47 の資料 6 について、知多半島からも調が平城京に送られており、その際に荷札として使われた木簡が発見されていることに触れる。 <p>【評】 中央集権国家の仕組みと人々の生活について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 48～51 ・唐の支配の広がりによって東西交流が盛んになったことや、遣唐使が果たした役割に着目して追究させる。(つながり) ・唐の広がりによって東西交流が盛んになったことや遣唐使が果たした役割に着目して追究させる。 ・教 P. 48～49 の資料を活用して、仏教を軸に天平文化の特徴を押さえる。 <p>【評】 天平文化が仏教を中心としたもので、国際色豊かな文化であることを調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本書紀は、朝廷が中国の歴史書の体裁にならってまとめられたものであることを押さえる。 ・教 P. 52～53 ・桓武天皇が目指した政治や、朝廷内の貴族や僧の動きに着目して追究させる。 (つながり) ・教 P. 46～47 を活用して、平城京の都の様子や進められた政治などについて、平安京と比較してまとめさせる。 ・桓武天皇の律令に基づく政治が変化した背景を捉えさせ、政策の特徴をつかませる。 ・平安時代の仏教は、都から離れ、厳しい修行や学問を行うものであったこと、また浄土信仰が盛んになったことを理解させる。 <p>【評】 都を移して政治を進めた桓武天皇のねらいについて、新しい仏教の動きを関連させながら考えたり、発表したりする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 54～55 ・政治の中心となった藤原氏や、律令政治の移り変わりに着目して追究させる。(推移) ・教 P. 55 の資料 4 を活用して、藤原氏がど
---	---

<p>・天皇家との外戚関係を結ぶことで力を伸ばすことができた。</p> <p>○東アジアの変化について調べる。</p> <p>18 国風文化について調べる。</p> <p>★平安時代の国風文化には、どのような特色があるのだろうか。</p> <p>○日本風の文化について調べる。</p> <p>○国風文化が発展した理由を考えたり、説明したりする。</p> <p>・遣唐使の派遣が停止されたことから、唐の影響力が弱まり、日本のくらしや風土に合った文化が生まれた。</p> <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>19 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>★単元の学習を確認して、「古代」の特色をまとめよう。</p> <p>●日本という国はどのように生まれ、発達していったのだろうか。</p> <p>○学習してきたことを年表と地図にまとめる。</p> <p>○「古代までの日本」について時代の特色を表したかるたを作る。</p> <p>○古代までの日本の特色を文章にまとめ、発表する。</p> <p>・政治に着目して、私が考えた「古代まで」の特色は、国をまとめるために天皇など力をもった人々が、中国や朝鮮の影響を受けながら発展を目指した時代である。</p> <p>○中世の日本と世界の様子に触れ、次の単元の見通しをもつ。</p>	<p>のように力を伸ばしたかを理解させる。</p> <p>・戸籍が作られなくなったり、班田収授が行われなくなったりするなど、律令政治が変化したことを押さえる。</p> <p>・中国や朝鮮の急速な衰えから、遣唐使を中止するなど国交を結ばなくなった背景を押さえる。</p> <p>【評】中央集権国家の仕組みが、藤原氏の摂関政治により崩れていった理由を、資料を活用して考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 56～59</p> <p>・国風文化の特色と天平文化の特色の違いに着目して追究させる。(比較)</p> <p>・教 P. 56～57 の資料 1～8 を活用して、国風文化の特徴を捉えさせる。</p> <p>・教 P. 48～51 の資料を活用して、天平文化の特色との違いに着目させる。</p> <p>【評】国風文化が発展した理由について、貴族中心の政治や東アジアの変化から考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 62～63</p> <p>・教 P. 62 の年表を活用して、日本と世界の動きを捉えさせる。また、政治の中心になった人々や地域の共通点や相違点を考えさせる。</p> <p>・時代ごとに特色を比較させたり、移り変わりに着目させたりしてかるたを作らせる。</p> <p>【評】これまでの学習活動を踏まえ、古代までの特色について話し合ったり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む姿勢」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】